

「学ぶ人」から「導く人」へ。

『自然や環境のために行動できる人』を育てたい！
そんな大人のための環境教育プログラム。

楽しい環境学習のための ファシリテーション講習会 (兼 PLT 指導資格講習会)



■大人の学び舎■

分類：環境学習
遊びと学び
会場：秋田市
制限：18歳以上
×切：8月3日



- ★幼稚園児から高校生までを指導する教育者向けに米国で開発された環境教育プログラムです。
- ★「木」を題材とし、生き物のつながりや人間との関わりなど、体験を通して楽しく伝えることができます。
- ★コミュニケーションやチームワークの力を養い、学校や会社の研修など幅広く活用できます。

日時

2013年8月10(土)-11日(日)
AM9:00 ~ PM4:30

会場

秋田県立岩城
少年自然の家

募集人数：環境教育に関心のある大学生・一般 24名

参加費：10,000円

(PLTテキスト・認定証、保険、4食・飲み物、講師謝礼)

申込締切：8月3日(土) (定員になり次第締め切ります)

講師：建部 彰一氏(体験学習実践研究所主宰)、他

[日程]

- ◆1日目◆
8:30 集合
9:00 アドベンチャー教育
21:00 1日目終了
- ◆2日目◆
9:00 PLT 講習
16:30 解散

主催：秋田県立大学薫風満天フィールド交流塾 共催：あきたESDネットワーク

お申し込み
お問合せ

あきたESDネットワーク(TEL/FAX 018-835-2751)
下記申し込み内容を記入の上、FAX・メール・郵送でお送りください。
◆参加決定後詳細をお知らせします。メール：cfi_oysk@cna.ne.jp

1. プロジェクトアドベンチャー(PA)とプロジェクトラーニングツリー(PLT)の理論や手法を用いながら、ファシリテーション技術力を磨き高める学びを習得します。
2. この講座は、Project Learning Tree(PLT)の指導資格講習会も兼ねており、全てを受講するとPLT指導者(ファシリテーター)の認定を受けることができます。PLTのテキストは一般には販売されていません。詳しくはPLTのHPをご覧ください(<http://eric-net.org/>)
3. 遅刻早退はできませんので、予めご了承ください。
4. JR羽後亀田駅から無料の送迎バスが出ます。

〒010-8506

秋田市東通仲町4-1

アルベ 市民交流サロン内
あきたESDネットワーク宛
(レターケースNo. 8)

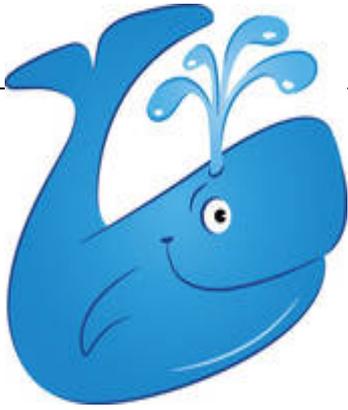
参加申し込み票(記入日: 月 日) FAX:018-835-2751

参加者氏名

電話番号

メール

住所



講師：くじらさん（本名 建部彰一 氏）

体験学習実践研究所主宰。特定非営利活動法人体験学習ネットワーク理事。ボーイスカウト活動を通して、野外教育のすばらしさを体験。指導を続けながら、より深い野外教育を目指し、環境教育指導者の道に入り、ファシリテーションを学ぶ。プロジェクトアドベンチャーと出会い、冒険教育・チームビルディングに関わる。

[野外活動・環境教育等指導者資格] ProjectWILD(エデュケーター) ProjectWET(ファシリテーター) PLT(リーダー) ネイチャーゲーム(リーダー) GEMS(リーダー) CONE(リーダー)

Project Learning Tree (PLT)

ふと。外を眺めれば、必ずと言って良いほど視界に入る「木」。

あなたは「木」から何を学び、どこまでその想像力を広げられますか？

アメリカ合衆国で最も普及している「木」を切り口とした環境教育プログラムです。「アメリカ森林財団（AFF）による事務局運営のもと各州にコーディネーターと運営委員がおかれ、指導者の養成にあたっています。カナダ、スウェーデン、フィンランド、メキシコ、日本など教育関係者や子どもたちが参加している国際認定です。

Project Adventure (PA)

するべきか。しないべきか。それとも・・・。

その時、あなたの言葉は「仲間」に届きますか？

人は様々な「気づき」を経て成長していきます。人が成長するためには「信頼関係」がなにより大切で、信頼関係を築くということは仲間作りでもあります。信頼関係は学習の環境としても最も大切なもので、気持ちが閉じられたままでは、成長のための「気づき」は生まれません。時には、自分の限界を超える挑戦をすることも成長のためには必要です。そのような挑戦をささえてくれるのが仲間の存在であり、「気づき」を成長に導くのがPAプログラムです。PAプログラムは「3つの要素が相互作用して、成長と変革を促します。①体験サイクル ②フルバリューコントラクト（簡単な約束） ③チャレンジバイチョイス、PAでは3つの考え方を基本理念としています。これらが相乗的に作用することで、効果を最大限に高めることができます。（PA.HPより抜粋）」

Facilitation

ファシリテーション、って最近よく聞くけど、なに？

子どもたちとの環境学習にも、役立つものなの？

人と人との関係や集団による思考を活性化し、新しいプラスアルファを促す術。建設的な議論を促し、組織を活性化し、実行力を高める。怒鳴り声や罵声や愚痴、不満ではなく、はつらつとした新しいアイデアと笑い声で満たされる組織。そういう場を作り、プロセスをリードすることをファシリテーションと呼ぶことにしましょう。「人の集団の知的生産性・創造性の向上」これは、今後の日本が最も必要としているものかもしれません。最近のリーダーにはファシリテーションスキルを身に付けた人が増えています。（引用：「ファシリテーターの玉手箱」森時彦著）

◆参加決定後に日程等詳細及び交通機関等情報のご案内をお送りします。